

善 古
本 典
展 籍

ご挨拶

私の家の前にある老木の桜が今年はいつもとより早く蕾が膨らみ三月の終わりころには満開の花を咲かせました。五歳になる三番目の孫と一緒に快晴のまばゆい光を浴びながら写真を何枚も撮って自然の清々しさを久しぶりに味わいました。ここ三年間のコロナ生活で体内に溜まった鬱々とした気分が晴れて何だか浮き浮きして楽しくなってきました。書物を愛する皆様の中にも今年の桜には今までにない特別な感じを持たれた方々も沢山おられたことでしょう。

さて大阪古典会は昨年創立百二十周年という記念すべき大会を迎えました。まだまだコロナ禍の中の大会ではありましたが、同業の皆様のご協力と顧客の皆様のご援助により何とか無事に開催することができました。ご参加ご来場して頂いた方々にはこの紙面をお借りして心よりの御礼を申し上げます。今年の大会はどうやらマスクなしでいけそうですので沢山の皆様のご来会をお待ち申し上げます。

今年の大阪古典会の目録作成に追い込みをかけていた三月二十九日の朝、といっても午前二時頃でしたからまだ普通の人間にとっては真夜中と言う時間ですが、いつも通りに起きて何の気なしにテレビをつけてみたら、そこに大谷翔平選手がいました。NHKの「スベ選 大谷翔平」という特番だったようで、彼は一週間前のWBCでのアメリカとの決勝戦でクローザーとして出てきて九回一回を見事に○点に抑えてわが日本に歓喜の優勝を齎しました。しかも最後の打者となったのがエンゼルスと同僚マイク・トラウト選手で、ソウスリーのフルカウントから投げたスライダーで見事空振りの三振をとりました。と次の瞬間、大谷選手は帽子とグラブを天高く放り投げて鬼人の形相で雄叫びをあげました。野球は筋書きのないドラマとよく言われますが、私には超人 大谷翔平が描いた筋書きのあるドラマだったように一瞬そう思いました。我々日本人にこれ程の感動と勇気を与えてくれた若者が嘗ていたでしょうか。彼が自分の七十歳までの人生の予定表を書いているというのも驚きですが、この予定表から一年遅れながらWBCの優勝を実際に勝ち取ったことはまさにインクレダブルとしか言いようがありません。アメリカでは彼は人類ではないとか地球外生物とかユニコーンとかいわれているようですが、彼は紛れもない日本人です。

コロナの時代のもう一人の超人は将棋の藤井聡太六冠で年齢は若干二十歳であります。記録を次々塗り替え、今年四月五日から挑戦が始まった名人戦第一局でも渡辺名人に先勝しました。去年一年間の勝率は八割三分を超え将棋プ

口百七十一人中断トツの一位です。穏やかで優しそうな顔立ちからはとても相手を威圧するような感じは全く受けませんが、彼の指す一手一手が相手を震え上がらせるのです。記者会見や将棋の感想戦での話し方は常に慎重かつ丁寧で、勝っても負けても相手を気遣いながら話されます。この強さと謙虚さが何処から来たものか、七十三歳の私はいつも感心させられています。メジャーリーガー大谷翔平とプロ棋士藤井聡太、二人は全く違う世界の人間ながらこのコロナの異常な時代に世に出てきてどんどん成長して多くの日本人に勇氣と夢を与えてくれています。この二人をこれから私は「夢超人」と呼ばせてもらおうと勝手に思っています。

古書店の我々には彼らのような超人はいませんが、昔の超人級の人が書いた本を売ることはできません。日本の最初の物語小説といわれる『源氏物語』は今から約千年前の平安時代に紫式部という超女によって書かれました。全五十四帖という長編で主人公は光源氏という貴公子で、この源氏を取りまく女性との恋愛物語が多く書かれています。平安時代の宮廷の諸行事や天皇への権力闘争等々歴史書としても価値があります。写本と版本が残っていて今でも原文で読めるのが日本という国の文化の奥深いところでもあります。また江戸時代中期に木版で出された『解体新書』五冊は、杉田玄白や前野良沢を中心に何人もの協力を得て四年の年月をかけてドイツ人クルムス著の『解剖図譜』(『ターヘル・アナトミア』銅版)を翻訳したもので、図は秋田蘭画で有名な小田野直武が描いたものです。これらの本は当時の超人たちが何年もの年月をかけて編纂したもので、本当にスーパーブックと言うに相応しい宝物です。日本には何時何処でこのような貴重な本が見つかるかもしれませんから、その時は我々古書店にお気軽に相談してくださいね。

今日は四月の十四日、家の前の老木の桜も殆ど散ってしまいました。コロナもこの桜のようにぱあっと散ってしまつて欲しいものです。今年の大阪古典会の下見は五月二十六日(金)、二十七日(土)です。皆様のご来会を心待ちにしております。

令和五年四月十四日

大阪古典会会長 中尾隆夫

大阪古典会創立百二十一周年記念

古典籍展観入札会

展 観

五月二十六日（金）午後三時より午後七時まで

五月二十七日（土）午前十時より午後六時まで

入 札 五月二十八日（日）午前十時廻し開始（開場 午前九時）

（全古書連加盟業者のみで行います）

会 場 大阪古書会館

大阪市中央区粉川町四一

TEL（〇六）六七六七―八三八〇

取引規定 一点 五万円以上

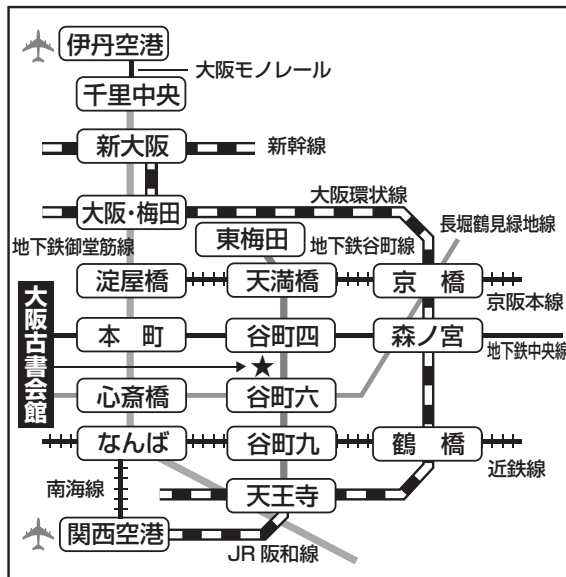
但し 額・幅物・屏風は一〇万円以上

○入札は全古書連加盟業者が行います。ご希望の品がございましたら、ご懇意の書店へご注文下さい。
なお落札の際は、落札の価格に加え若干の手数料を頂戴いたします。

○会場内への筆記用具以外のお手荷物の持込はご遠慮下さい。

○会場の感染症対策にご協力下さい。

[会場の御案内]



大阪古書会館

大阪市中央区粉川町 4-1 TEL: 06-6767-8380

○交通のご案内

- 地下鉄谷町線 / 中央線 谷町4丁目駅⑧番出口
- 地下鉄谷町線 / 長堀鶴見緑地線 谷町6丁目駅⑤⑥②番出口
- 地下鉄長堀鶴見緑地線 松屋町駅⑤番出口
- 阪神高速道路 法円坂出入口
- タクシー 内久宝寺町三丁目交差点南入

目次

古写経・古写本・古筆切	1
江戸時代写本	
国文学・古典芸能	3
国史・地誌	5
絵本・諸芸・趣味	7
医書・本草・易書・洋学	10
仏教・宗教	11
漢籍	12
古版経・古版本・古活字本	12
江戸時代版本	
国文学・古典芸能	13
国史・地誌	15
絵本・諸芸・趣味	16
医書・本草・易書・洋学	19
仏教・宗教	21

漢籍	22
古記録・書状	23
近世文書	24
近世書画筆蹟	25
近代書画筆蹟	28
中国・朝鮮書画筆蹟	29
中国版画	30
中国経卷	31
唐本・朝鮮本	31
書道・法帖・印譜	37
浮世絵・版画・摺物	39
春画・艶本	46
古地図	48
近代資料・文献	50
美術書・複製・洋装本・その他	52
追加	54